

令和5年度WAM主催オンライン学習会

「具体的な計画をつくるには？ー助成事業実施団体の経験の語りから」

# 具体的な計画をつくるために

## 必要な準備とは？ 2023年12月7日

NPO法人 多様な学びプロジェクト

代表理事 生駒知里

# プロフィール



生駒 知里 (いこま ちさと)

NPO法人多様な学びプロジェクト 代表理事

川崎市子ども夢パーク元職員

長男が小1の秋から学校を「辞めた」ことで焦りや不安を感じる日々を過ごし、不登校家庭の心理的・物理的ケアが少ないことを身をもって経験。

『多様な学びプロジェクト』を2017年より始める。

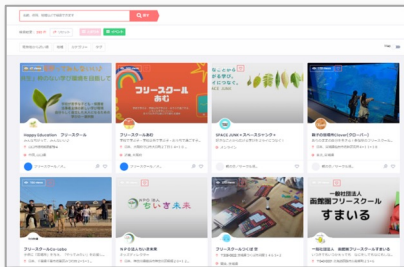
2歳から17歳まで7児の母。上の4人はホームエデュケーション、フリースペースなど学校外の学びの場で育てている。

## 沿革

2017年	任意団体FUTURE DESIGN設立 街のとまり木事業・まちの先生事業開始
2019年	他団体と共同で「#学校ムリでもここあるよ」キャンペーン開始
2020年	不登校の子・保護者・居場所運営者向けオンラインコミュニティ事業開始
2021年	「街のとまり木サイト（居場所検索サイト）」オープン
2022年	NPO法人多様な学びプロジェクトとして法人化
2023年	「不登校当事者実態ニーズ全国調査」を実施

# 団体事業概要

## 2017年～ 「街のとまり木」事業 検索サイト&モデル事業



[tomarigi.online](http://tomarigi.online)

不登校やホームスクーラーの子どもが安心して過ごせる場所の情報サイト  
フリースクール、オルタナティブスクール、不登校親の会、児童館や図書館、プレイパーク、カフェ、無料塾など現在約504か所を掲載



とまり木Café（居場所事業）in 川崎



地域マップ作成、配布

## 2020年～ オンライン コミュニティ事業

子ども同士がつながる！

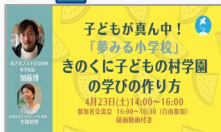


フリーバードキッズ  
「好き」「得意」でつながるオンラインサロン



とまり木哲学カフェ  
対話で「ちがいを認め合うオンラインイベント

大人同士がつながる！学ぶ！



オンライン講座  
「多様な学び」をキーワードに毎月開催

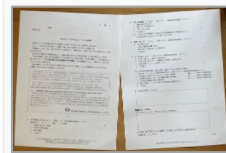


とまり木オンラインサロン（会員制）

講座のアーカイブ動画をいつでも視聴できる。交流会で、保護者・支援者が集い、知見、知恵を交換

## 2022年～ 政策提言・調査活動

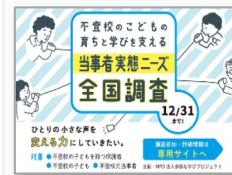
学校への依頼文フォーマット



「同じようなことで疲弊する保護者を一人でも減らしたい！」

不登校の子を持つ1人の保護者の一言から始まった、630名以上の知恵を詰め込んだ唯一無二のフォーマット

不登校当事者ニーズ全国調査  
政策提言



ひとりのちいさな声を変える力にしていきたい

当事者の声を政策をつくる側に届ける活動

# 助成金一覧

2023年度

## 【不登校の支え手人材育成と地域ネットワーク構築事業】

### WAM助成（社会福祉振興助成事業）

【不登校の子と保護者を支える居場所運営者の為の研修サイトとプログラム開発、及び地域ネットワーク構築事業】

### 赤い羽根福祉基金(中央共同募金会)

【かわさき学校外で育つ子どもの居場所（街のとまり木）マップ制作】

### かわさき市民公益活動助成金（公益財団法人かわさき市民活動センター）

2022年度

【不登校の子ども達の「関係の貧困」を防ぎ「貧困の連鎖」を起こさない社会に向けて、持続可能な運営のための組織診断】

### NPO/NGOサポートファンド for SDGs（パナソニックホールディングス）

【かわさき学校外で育つ子どもの居場所（街のとまり木）マップ制作】

### かわさき市民公益活動助成金（公益財団法人かわさき市民活動センター）

【コドモ農業大学】

### 助成プログラムA「食育活動」（キューピーみらいたまご財団）

【コドモギルド】

### 子どもゆめ基金（独立行政法人国立青少年教育振興機構子ども夢基金部）

2021年度

【貧困連鎖をくいとめる街の学び場『コドモ農業大学』】

### 未来応援ネットワーク事業（社会福祉振興助成事業）

2020年度

## 【街に多様な学びと多世代交流の場を創る多様な学びプロジェクト】

### WAM助成（社会福祉振興助成事業）《2021年度に優良事業として認定》

2019年度

【学校外で学ぶ子ども達が街を学びと居場所に～多様な学びプロジェクト～】

### かわさき市民公益活動助成金（公益財団法人かわさき市民活動センター）

# メディア掲載

## 日本財団



【学校に通わなくても...】  
不登校の子ども4人を育てる大家族の  
お母さんに1日密着してみた

<https://www.youtube.com/watch?v=VxTyy6oWtUs>

## NHK 未来スイッチ



地域に“とまり木”を

<https://www3.nhk.or.jp/news/special/miraiswitch/article/article29/>

## NHK NEWS WEB



不登校の子どもたちの居場所を  
受け入れマップ配布 川崎

<https://www3.nhk.or.jp/shutoken-news/20221231/1000088213.html>

## 朝日新聞



不登校の苦悩「脳が退化する」  
母はとまり木を考えた

<https://www.asahi.com/amp/articles/ASN7Y5V2KN7JUTIL02D.html>

## 上記以外の主なメディア掲載

[毎日新聞](#) / [東京新聞](#)

[NHK首都圏ニュース「学校が苦手な子と保護者のための街のとまり木マップ」かわさき版](#)

[東京新聞「とまり木マップかわさき版」掲載](#)

[ラジオ「～JK RADIO～TOKYO UNITED」](#)

[NHK「あさイチ」学校の依頼文フォーマット](#)

[中日新聞「学校依頼文フォーマット」](#)

<代表インタビュー>

[東洋経済オンライン『不登校の子どもに「学校以外の居場所」つくる、7人の子を持つ母親の素顔不登校過去最多、フリースクール運営に助成を』](#)

[日経新聞夕刊に掲載されました \(tayounamanabi.com\)](#)

<とまり木オンラインサロン>

[日経ウーマン2022年3月号に「とまり木オンラインサロン」](#)





## 助成金申請にまつわる悩み

- ① 助成金を申請しても全く通らない。  
採択される申請書の書き方について知りたい。
- ② 助成終了後、どうしたらいいのかプランがなく、  
計画書に描けない。
- ③ 採択後、実行段階で体制や計画に問題が生じた経験あり。  
克服の策を知りたい。
- ④ 助成金採択後にすべきこと、体制、負担などがわからず  
心配。準備しておきたい。



## 助成金申請にまつわる悩み

- ① 助成金を申請しても全く通らない。  
採択される申請書の書き方について知りたい。
- ② 助成終了後、どうしたらいいのかプランがなく、  
計画書に描けない。
- ③ 採択後、実行段階で体制や計画に問題が生じた経験あり。  
克服の策を知りたい。
- ④ 助成金採択後にすべきこと、体制、負担などがわからず  
心配。準備しておきたい。

# 私達も最初は全く同じでした

## 失敗談①

もともと、、、

事業計画（予算やスケジュール）を立てる、ということすらやったことがなかった。



助成金を申請する時に初めてつくった。

やってみると、、、  
予算はどう出したらいいの？



見積もりを取りなさい



市民活動センター  
（財団）



見積もりを取ることすら知らなかった！

予算書にある人件費ってどうやって出したらいいの？  
（ボランティア運営だったためわからない。）




まずは賃金×従事する時間×月で積算していく（事業終了後も考えてボランティアのままにしておくかなどは団体のフェーズで決める）






## 失敗談②

### ●スケジュール


詰めこみすぎてパンパンになって  
しまって実行するだけで大変。



行っている事業は助成事業だけ  
ではないので、実際にスケジュー  
ール帳に日にちまで書きこんで  
みて本当にできるのか？を確認  
するようになった。


周りに負担かなと思って代表や副  
代表だけで申請書を書いていた。  
弱音も出さずにいた。



「結局、私たちは生駒さんのや  
りたいことをやる手足ですよ  
ね」→後述

事業終了後の資金計画は別の助成  
金を取ればいいやと考えていた。



そんな申請書だと採択されない  
→後述

# 協力者や団体メンバーのやる気につながる申請段階の準備①

- ・はじめは相手が負担にならない量でヘルプを出す。

- ・パズルのピース。

こちらに凹み（弱み、できないこと）があるから、凸み（強み）を入れてもらえる。

- ・素直に受け取る、喜ぶ、感謝を伝える。



# 協力者や団体メンバーのやる気につながる申請段階の準備①

それぞれのニーズを把握して、表にしてみる。

その人の人生を通して  
何を実現したいのか？  
(ライフビジョン)

どうして団体に参加し  
ているのか、団体を通  
じて何を実現したいか？

何を得意や好きにして  
いるのか、または苦手  
や嫌いな業務はなにか？



モチベーションにつながる業務や事業につけるよう、本人と相談して決める。  
協力者も同じく相手のニーズを把握しながら協力を要請していく。

名前	人生を通してやりたいこと	団体を通じて実現したいこと	その人の強み、得意なこと	弱み、苦手なこと	担当してもらいたい事業や業務
Aさん	フリースクールスタッフが正当な給与を得られること	フリースクール支援	アイデアマン、つながり、フリースクール運営経験	バックヤード業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伴走支援事業の開発</li> <li>・ 支援者向け講座の企画</li> </ul>
Bさん	地域にオルタナティブな学びの場を増やしたい	保護者で小さな居場所を立ち上げる人への支援	周囲の人や事業への丁寧な関わり、オルタナティブスクール運営経験	急な依頼	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伴走支援事業の開発</li> <li>・ 支援者向け講座の企画</li> <li>・ 団体内のコミュニケーションアップの企画</li> </ul>
Cさん	これ以上悩む不登校保護者を増やさないこと	フリースクールへの中間支援	周りをエンパワーメントする力、お節介力、事務能力	オーバーワークになりがち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 団体全体の感情面のサポート</li> <li>・ 事務スタッフの統括</li> </ul>

# 協力者や団体メンバーのやる気につながる申請段階の準備③

スケジュール編：計画からフラットな立場で案を出し合う（少数で決めない）。

## 1月末から2月初旬のWAM申請に向けたスケジュール

10月

次年度～3年間、理事それぞれがやりたいとを自由に出し合う

11月

企画者のプレゼン / 対象者へのヒアリング（個別や集団）

12月

事業計画案にまとめる（主に代表理事の私がまとめる）  
財団の説明会に参加して、事業計画が財団が求めるものに合致しているかを確認する

1月

- 1) 申請書の下書きを作成し、運営メンバーで書き直しを行っていく（Googleドキュメントでオンライン上で行っていく）
- 2) 協力者に依頼をする、見積もりを取る

# 受益者ニーズに立った計画づくりをどう進めているか

◆10月以前（通年）は何を行っているか。

## ・社会課題の深掘り

なぜこういう課題があるのか、課題と解決策の間にどんな障害があってそれが解決に向かっているのか、他の分野で似たような課題と解決で成功している事例はあるか、などを調べておく。

（例）詳しい人に聞く、現場の人に聞く、データにあたる、他の地域や海外の事例を探る、など

## ・プロトタイプ（試行事業）をつくる

プロトタイプ（試行事業）を行って、受益者ニーズに合致しているかをあてていく。

→小さくつくって回しながら大きくしていく。

### メリット

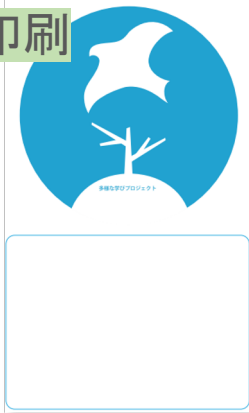
- 協力者が集まりやすい
- 受益者ニーズに合致しているかが分かる
- 実際にどれくらいの体制が必要かが分かる
- 予算が足りない場合もボランティアで回すことができる。



# プロトタイプ事例



紙に印刷

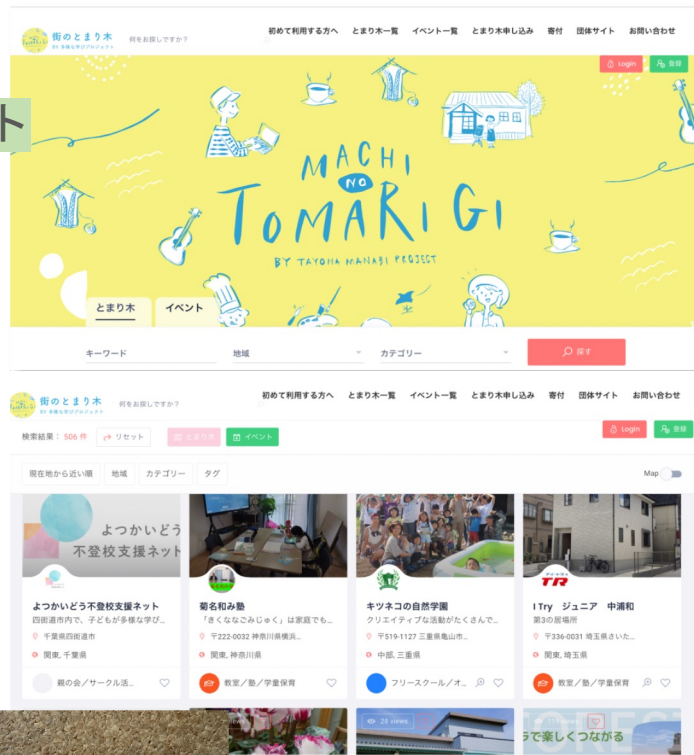


Googleマイ  
マップ



検索サイト

ニーズを  
確認して  
からお金  
をかける



業者印刷

# 助成申請を書くにあたって気をつけていること①事業終了後も視野に

助成財団はプロポーズ相手、申請書はラブレター

「相手を理解して、はじめて自分達を理解してもらえる」

×自分たちはボランティアでいいことをしているんだから応援されて当然

→このマインドで出していたら落ち続けた。

○助成財団が目指していることを応募要項からきちんと読み解いて、あなたが目指している世界は私も共感するし、私達なら一緒に実現できますよ、と伝える。

→助成終了後にどんな日本or地域社会になっているのか、ということ審査員に風景として見せる

×お金を出してもらう為に財団に合わせた事業計画を立てる

○「助成財団とはお金を出してくれる人、私達は出してもらう人」という上下関係ではない。同じ世界観をもち、一緒に手を組む対等なパートナーという目線でこちらも選んでいる。自分達の事業計画にあった財団を選ぶ。



助成申請を書くにあたって気をつけていること①事業終了後も視野に

## 助成終了後の資金計画

- ・助成終了後にどういう資金計画を立てているかも審査対象。案を考えておく必要がある。

私たちの場合

×助成事業終了後の資金計画は別の助成金を取ればいいやと考えていた

→そんな申請書だと採択されない。受益者ニーズで事業を企画し、事業の立ち上げ期に助成金を使うんだということが徐々に分かってくる。

○助成事業後に事業収入などの柱が立つことを目指す。

○団体の基盤強化の機会にするという視点ももつ。（後ほど詳しく）



## 助成金申請にまつわる悩み

- ① 助成金を申請しても全く通らない。  
採択される申請書の書き方について知りたい。
- ② 助成終了後、どうしたらいいのかプランがなく、  
計画書に描けない。
- ③ 採択後、実行段階で体制や計画に問題が生じた経験あり。  
克服の策を知りたい。
- ④ 助成金採択後にすべきこと、体制、負担などがわからず  
心配。準備しておきたい。

## 採択後の計画変更計画段階でどう備える？

申請時に工夫できること) 大きな額で事業の柱が何本か立っている時  
「スケジュールや予算、目標」を3段階で立てておく。

- 梅) 無理なく確実に達成できること → 絶対に達成するライン
- 竹) ちょっと頑張れば達成できること
- 松) それ以上の成果の可能性

事業計画は(梅~松)が包括できるようなトーンを意識する。

「スケジュールや予算、目標」は(梅~竹)あたりで計画し、ある事業の柱で(松)になり  
そうな時に、別の柱は(梅)に調整する。

前述した受益者ニーズ、協力者ニーズに合致した事業になっていると、ボランティアさんや  
協力者の協力も得られる場合もある。

# 採択後、事業計画変更が生じそうな際は？

1) 早めに担当者に相談をする。

- ・ 計画が頓挫しそうな時
- ・ 当初計画よりも大きな成果に繋がりそうな時

⇒財団担当者は私たち実行団体よりも、**その助成財団の強みになる知見**をもっている。よりベストな事業計画に発展する可能性もある。

2) 諦めない。「失敗」を早い時期に多く繰り返しながら「目標（成果）」につなげていく気持ちをもつ。

「梅）無理なく確実に達成できること⇨絶対に達成するライン」は死守する努力は最大限する。



## 助成金申請にまつわる悩み

- ① 助成金を申請しても全く通らない。  
採択される申請書の書き方について知りたい。
- ② 助成終了後、どうしたらいいのかプランがなく、  
計画書に描けない。
- ③ 採択後、実行段階で体制や計画に問題が生じた経験あり。  
克服の策を知りたい。
- ④ 助成金採択後にすべきこと、体制、負担などがわからず  
心配。準備しておきたい。

## 採択後（助成期間中）の負担は？

財団によって様々ですが、WAM助成は特に、支出管理Excelの提出や中間報告書、最終報告書、契約書や業務日報の提出など**事務負担が大きい**印象。

→デメリットと見るか、メリットと見るか。私たちは**メリット**だと感じた。

- ・ 会計、契約書、謝金規程など、団体が整えるべきことについてチェックを受けるなかで**基盤強化**につながる。事務局への人件費は出るので、助成金を通して整備しないといけないことが整備できる。
- ・ 報告書を兼ねて今後使える**広報物**も一緒に作成しておくよかった。
- ・ 助成を受けたことも外部からの「**信頼**」になるので、ホームページにも掲載している。
- ・ 「**事業効果を測る**」視点をもてる。アンケートやヒアリングなどを通して事業を改善できる。外部への広報に役立つこともある。


## <その他に感じたよかった点>

- ・その後の波及まで丁寧に見てもらえる

私たちの2020年度の事業→その後の事業の発展や成果をみて、2021年度に「優良事業」として認定してもらい、さまざまな媒体で団体を紹介してもらえた。

- ・事業期間中や事業後も学習会や他団体との交流の機会が多く用意されている。（任意参加）

団体のみんなで受講したり参加することで、団体内の「共通言語」ができて、コミュニケーションがより取りやすくなったり、政策化やモデル化を進めやすくなる。



さいごに